



目次

- 4 地震に備える
- 5 第73回市民文化祭(文芸・生活文化・展示部門)
参加者募集 ほか
- 17 【健康×暮らしナビ】休日・祝日当番病・医院 ほか
- 18 【みんなのひろば】市民カレッジ ほか
- 19 えべつ健康フェスタ 2026

2026

9

vol.1043

江別市自治会連絡協議会創立60周年記念特集

楽しく関わる、 地域とつながる



末広えんじゅ自治会では、子どもから大人までが参加し、歩道沿いの花壇の草取りや花の手入れが行われました。伸びた雑草を取り除き、集めた雑草を袋にまとめたことで、花壇周りがすっきり整いました。(7月5日撮影)

江別市自治会連絡協議会創立 60 周年記念特集

楽しく関わる、 地域とつながる

江別市自治会連絡協議会は、自治会同士の情報共有や連携を支える組織で、今年で創立 60 周年を迎えました。現在、161 の自治会が加入しています。本特集では、60 周年の歩みを振り返りながら、これまでの活動を通して育まれてきた地域のつながりと、自治会活動のこれからを考えます。

【詳細】 市民生活課 ☎ 381-1018

地域を思う気持ちが支えた60年

創立60周年という節目に携わることができ、大変光栄に思います。自治会連絡協議会が発足した当時は、江別市の人口が増え、地域に活気が満ちあふれた時代でした。地域を自分たちの手で良くしたいこうという思いを持った方々が多かったと聞いています。

私の住む上江別地区では、約50年前に自治会館を建てる時、地域の皆さんが費用の一部を出し合ったそうです。自分たちの地域に必要な場所を、自分たちで作りたいという思いが、そこにあったのではないのでしょうか。

各自治会で積み重ねられてきた活動や地域への思いが、自治会同士のつながりを支える協議会の歩みにつながってきたと思います。

顔の見える関係が、暮らしを支える

自治会の活動は、回覧板を回すことや地域行事の運営だけではありません。排雪やごみ集積所の管理、花壇整備、福祉活動など、日々の暮らしに関わる活動も

会長 インタビュー



江別市自治会連絡協議会
会長 砂川 英雄 さん

多くあります。

こうした活動や行事を通じて顔見知りが増えることが、自治会の大きな役割だと思っています。あいさつを交わす相手ができることで、困ったときにも声を掛けやすくなります。顔の見える関係があることは地域の安心につながります。

地域に日頃から声を掛け合える関係があることで、市から届く情報などを地域の皆さんに伝えたり、地域で出た声を市につないだりする橋渡ししがしやすくなると感じています。

楽しいから、人が集まる

自治会活動が続けていくためには、活動する人自身が楽しく関わることが大切です。役員が負担ばかり感じていては、活動を続けることも難しくなります。

私の自治会では、若い世代の役員がLINEでやり取りをしながら、盆踊りでの出店の内容を考えました。これまでの出店に加え、キッチンカーを呼ぶなど、若い人たちの発想で行事の形が少しずつ変わってきました。

私が自治会長として全てを決めるのではなく、任せられるところは任せる。そうすることで、役員自身も楽しみながら関わることができます。自分が楽しくなければ、楽しさは周りに伝わりません。

これからの自治会には、若い世代の発想が必要です。SNSなどを使った情報発信など、活動の形を少しずつ変えながら、地域のつながりを次の世代に引き継いでいきたいと思います。

子育て世代の思いが、 自治会をもっと身近に



朝日町自治会 椎木 さん



朝日町自治会で行われたハロウィンパーティー

朝日町自治会の育成部副部長として、子育て世代も参加しやすい行事としてハロウィンパーティーを企画した椎木さん。企画に込めた思いや、自治会に関わって感じた地域のつながりについて聞きました。

子どもが楽しめる場を作りたい

子育て中の世帯として自治会の行事に参加したときに、「今度はぜひ子どもも連れて来てね」と声を掛けてもらうことがありましたが、小さな子どもが楽しめる場は限られていました。「子育て世代も参加しやすい場を作りたい」そんな思いを自治会長に相談したことから、企画が始まりました。

顔見知りが増える安心感

小さな子どもがいる家庭や、引っ越してきて間もない家庭にとって、地域に同じ年頃の子どもが住んでいるかどうかは分かりにくいものです。行事を通じて親子同士が顔見知りになれば、地域で暮らす安心感につながります。

私自身、地域の大人に見守られて育った記憶があり、自分の子どもにも、そういった環境で育ってほしいと思っています。

できる範囲で地域と関わる

自治会に関わる前は、活動内容が分かりにくく、会費が何に使われているのかすらよく分かっていませんでした。実際に関わってみると、街灯やごみステーションの管理など、暮らしを支える活動をしていることを知りました。

まずは行事に参加するだけでも、地域と関わるきっかけになります。できることから関われば、自治会がもっと身近になると思います。

これからの3つの取り組み

自連協だより「ななかまど」をリニューアル



自治会の取り組みを紹介する「ななかまど」が、より多くの人に見てもらえるよう、カラー版にリニューアルされました。協議会HPでも読むことができます。

公式 Instagram で情報を発信



各自治会の行事や協議会の活動を、公式 Instagram で発信しています。お住まいの地域のイベント情報などを知るきっかけとして、ぜひご活用ください。

公式キャラクターを制作中



親しみやすく
愛される
キャラクター

創立 60 周年をきっかけとして、自治会活動をもっと身近に感じてもらうための公式キャラクターを制作中です。今後の登場をお楽しみに。

自治会に関心を持った方へ

お住まいの地域の自治会へは、右の二次元コードから加入の申し込みができます。





第73回

市民文化祭(文芸・生活文化・展示部門) 参加者募集

(詳細) 江別市文化協会事務局 ☎ 598-7161 (火・木・金 13:00 ~ 16:00)

行事名	日時 / 会場	概要 / ￥ 参加料 / 申込 参加方法 / 問 問い合わせ
短歌大会	10/18 (日) 受付 13:00 開始 13:15 野幌公民館	￥ 1,500 円(歌会のみは 500 円) 申込 はがきに未発表の自由詠 1 首を記入し 10/2 (金)までに事務局 菅野 礼子さん (〒 069-0831 野幌若葉町 29-18 ☎ 385-5676)へ郵送 問 二川原 登さん ☎ 389-5671
市民美術展	10/24 (土) ~ 30 (金) 野幌公民館	絵画・版画・切り絵などの展示。市内に在住または在勤の方、市内の文化サークルなどに加入している方(高校生以下不可)が参加できます。￥ 2,000 円(3点まで) 申込 作品の搬入・受付は10/12(月・祝)10:00 ~ 12:15 に野幌公民館ホールへ。※詳細は8 月中旬頃から各公民館で配布される応募出品票で確認してください 問 中島 恭代さん ☎ 385-4217
川柳大会	10/24 (土) 13:00 ~ 17:00 野幌公民館	宿題は「響く」「絵」「約束」の各題 2 句ずつ。 ￥ 1,500 円 ※親睦会費含む(投句のみは 300 円) 申込 出席者は、10/21 (水)までに問い合わせ先へ電話。句は当日持ち寄り ※投句のみ参加の方は任意の用紙に投句を記載し、10/21 (水)までに問い合わせ先へ郵送(必着)またはファクス 問 嶋口 幸美さん (〒 069-0821 東野幌町 46-10 ☎・FAX 383-5556)
俳句大会	11/1 (日) 13:00 ~ 17:00 中央公民館	兼題「雁」「残菊」「当季雑詠」で 1 人 3 句以内。※投句者は当日出席必須 ￥ 500 円 申込 はがきまたは適宜用紙に投句を記載し、10/14 (水)までに堂下 和夫さん (〒 069-0824 東野幌本町 7-1-E502 ☎・FAX 385-6742)へ郵送またはファクス 問 西村 栄一さん ☎・FAX 383-0641
将棋大会	11/1 (日) 13:00 ~ 17:00 青年センター	￥ 一般の部(A、B、Cの3クラス):500 円、小中学生の部と文化協会員:無料 ※当日会場で支払い 申込 会場で直接 ※13 時まで 問 藤田 昌之さん ☎ 383-8565
市民菊花展	11/1 (日) ~ 3 (火・祝) コミュニティセンター	市民と菊友会員による菊花展。大菊・小菊は不問(種目別審査規定あり)。 ￥ 1,000 円 申込 10/16 (金)までに問い合わせ先へ電話 問 菊友会事務局 堀込 廣市さん ☎ 386-4519
市民書道展	11/1 (日) ~ 3 (火・祝) 野幌公民館	市内在住の方の書道展。未発表作品(漢字、かな、詩文、墨象、篆刻など)を額装または軸装で出品。 ￥ 500 円(文化協会員は無料) 申込 出品票(各公民館で配布)を 10/1 (水)までに提出 問 山田 静山さん ☎ 382-0793
市民陶芸展	11/1 (日) ~ 3 (火・祝) 野幌公民館	市内在住のアマチュアの方が対象。粘土で焼成した陶芸作品を 1 人 1 ~ 3 点展示できます。(出展数により調整) ￥ 個人:500 円、団体:1,000 円(文化協会員は無料) 申込 9/30 (水)までに出展申込票(野幌公民館で配布)を問い合わせ先へ提出 問 文化協会事務局 ☎ 598-7161
市民盆栽展	11/1 (日) ~ 3 (火・祝) 野幌公民館	市内在住の方と盆栽同好会による盆栽展。 ￥ 1,000 円 申込 10/15 (木)までに問い合わせ先へ電話 問 中川 隆さん ☎ 382-3965
市民華道展	11/1 (日) ~ 3 (火・祝) コミュニティセンター	長テール 1 本(90cm × 45cm)に 2 作程度を展示できます。 ￥ 個人:500 円 ※小学生と保護者で参加の場合は 1 組 500 円 申込 10/15 (木)までに問い合わせ先へ電話 問 笹原 邦子さん ☎ 382-2096
その他 一般展示	11/1 (日) ~ 3 (火・祝) 中央・野幌・大森公民館	藤工藝、押し花、絵手紙などの展示。個人、市民サークルなどで参加できます。 ￥ 個人:500 円、団体:2,000 円(文化協会員は無料) ※会場ごとの事前打ち合わせ時支払い 申込 申込書(各公民館で配布)に記載し、9/11 (金)までに出品を希望する公民館へ直接申し込み 問 文化協会展示部長 岡村 祐子さん ☎ 389-5081 または 生涯学習課 ☎ 381-1060

※展示部門の開催時間は、10:00 ~ 17:00 (最終日は 16:00)

日程・会場	講師・テーマ
10/10 (土) 北翔大学 7 号棟 2 階 722 教室	開講式 9:15 ~
	9:30 ~ 11:00 教育文化学部 野口 直美 教授 【小学生のかばんが重いと何が起る?—子どもの健康への影響と保護者の思い—】
10/17 (土) 札幌学院大学 B 館 1 階 B102 教室	11:10 ~ 12:40 教育文化学部 本阿彌 はるな 准教授、澤 聡一 教授 【(トークセッション) ニューロダイバーシティと不登校】
	9:30 ~ 11:00 人文学部 中村 敦志 教授 【ミュージカル『キャッツ』の原点:詩人が猫に託した「秘密の手紙」】
10/31 (土) 北海道情報大学 校舎棟 1 号館 106 教室	11:10 ~ 12:40 経済経営学部 黄 昕 准教授 【日本の人的資源管理】
	9:30 ~ 11:00 総合情報学部 システム情報学科 長尾 光悦 教授 【あなたの知らない人工知能の世界】
11/7 (土) 酪農学園大学 中央館 学生ホール	11:10 ~ 12:40 総合情報学部 システム情報学科 棚橋 二郎 准教授 【今年で成人になる「えべちゅん」の話】
	9:10 ~ 10:40 農食環境学群 食と健康学類 杉村 留美子 准教授 【幼児期の食育:「食べない」「時間がない」を行動科学で解決】
	10:50 ~ 12:20 獣医学群 獣医保健看護学類 村上 義樹 助教 【動物愛護フェスティバル in えべつ 2026 開催報告—「動物との共生」を、江別のまちから】
閉講式 12:20 ~ ※全講義受講の方には修了証を授与	

市内 4 大学の教員が、専門分野の講義をします。閉講式では市民カレッジ学位の授与を行います。希望者は 10 月 17 日(土)までに申し込んでください。定員は各回先着 100 名。※えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座

☎ 382 381
1 3 4 3 4
FAX 382 1 0 6 2

【申込方法】
9 月 1 日(火)から各講座開講日の 10 日前までに、電話、ファクス、Web フォームで申し込み
(電話受付は平日 9 時 ~ 17 時)



2026
ふるさと江別塾

受講料
無料